

6. 資 料

(1) ニュースレター第3号（年1回発行）

発行：2011年6月 14,000部

内容：

- ・センター長挨拶「この地域にある大学として」
- ・地域と歩む活動報告
浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」発行までの道のり
市民公開講座「すこやかリハサポート」
浜松市天竜区「山村地域現地見学会」
- ・地域貢献研究事業 2011年度報告会のご案内
- ・2011年度公開講座のご案内
- ・2011年度地域貢献研究事業費 採択事業一覧

(2) チラシ制作

①公開講座案内

種類	講座タイトル
公開セミナー	リーダーの使命と求められるリーダーシップ
公開セミナー	災害時の専門職連携～減災に向けて～
市民公開講座	認知症介護の最前線
市民公開講座	子どもへのまなざし～みんなで育ち合う

②地域貢献研究事業 2011年度報告会案内

(3) ホームページの更新

URL: <http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

大学ホームページトップからリンクしています。



地 域 と 歩 む

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare

カテゴリー

ニュース

ウェブページ

保健福祉実践開発研究センター概要

地域貢献研究事業

公開講座

委員等の派遣

講師派遣

当センター事業へのご参加

「市民公開講座「認知症介護の最前線」(第1回)を開催しました。|メイン|12/24 (土)市民公開講座は〆切らせていただきました。」

2011年12月4日(月)

市民公開講座「認知症介護の最前線」(第2回)を実施しました

認知症を脳の仕組みから解説した第1回に引き続き、12月3日(土)実施の第2回は受講者から提出された介護事例に関するグループワークとポイント解説を行いました。

グループワークでは介護事例の中で挙げられた「困っていること」についてどう解決したらよいか、介護福祉士、看護師、あるいは一般家庭での介護者等、それぞれの立場から様々な意見を出し合い、活発に議論がなされました。その後各グループからの発表に対して、講師の中村裕子教授(本学社会福祉学部臨床介護福祉学科長)が解決へのポイントについて解説。中村教授自身の家族介護体験を交えた解説は大変わかりやすく、参加者は2回の講座を通じて家庭や勤務先での介護に活かせる援助方法の糸口をつかんだ様子でした。

本講座には第1回が64名、第2回が57名、主に介護福祉士、看護師、家庭で家族を介護する一般の方々参加了。

グループワークの結果を発表する参加者と講師の中村教授

①ニュース記事の更新履歴

No.	更新日	ニュース記事タイトル
1	2011/12/28	市民公開講座「子どもへのまなざし～みんなで育ち合う～」を実施しました。
2	2011/12/7	12/24 (土) 市民公開講座は〆切らせていただきました。
3	2011/12/5	市民公開講座「認知症介護の最前線」(第2回)を実施しました。
4	2011/11/21	市民公開講座「認知症介護の最前線」(第1回)を開催しました。
5	2011/11/10	12/24 (土) 市民公開講座の申込を開始しました。
6	2011/11/8	【地域と歩むラウンジ】&ポスター報告にご来場ありがとうございました。
7	2011/11/2	11/5 (土) 【地域と歩むラウンジ】にお越しください。
8	2011/10/19	11/19 (土)、12/3 (土) 公開講座の申込を開始しました。
9	2011/10/10	「災害時の専門職連携～減災に向けて～」を実施しました。
10	2011/9/22	10/8 (土) IPW に関する公開セミナー 申込終了のお知らせ
11	2011/8/24	10/8 (土) IPW に関する公開セミナーの申込みを開始しました。
12	2011/7/7	7/2 (土) 公開セミナー：ありがとうございました
13	2011/7/1	明日 7月2日 (土) お待ちしております
14	2011/6/22	申込みは継続して受け付けています。
15	2011/5/25	7/2 (土) 公開セミナーの申込を開始しました。
16	2011/5/12	2011 年度公開講座の情報を掲載しました。

②更新ページ

- ・地域貢献研究事業

2011 年度地域貢献研究事業費採択課題一覧を掲載

- ・公開講座

2011 年度公開講座案内を掲載、インターネット申込フォーム

③当センターへの問合せ方法

ホームページに問合せフォームを設置していますので、ぜひご活用ください。

URL : <http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/form.html>

カテゴリ	当センター事業へのご参加																								
ニュース	共同研究事業へのご参加や、研究支援、講師派遣、専門団体等への委員の派遣等のご相談は、下記にご連絡いただくか、申込フォームから送信してください。																								
ウェブページ	聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL: 053-439-1400 FAX: 053-439-1406 http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/																								
保健福祉実践開発研究センター概要																									
地域貢献研究事業																									
公開講座																									
委員等の派遣																									
講師派遣																									
当センター事業へのご参加																									
こちらをクリック																									
	<table border="1"><tr><td>貴団体名</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>担当部署</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>担当者名</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>郵便番号</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>都道府県</td><td>静岡県 ▼</td></tr><tr><td>住所</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>電話番号</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>FAX番号</td><td><input type="text"/></td></tr><tr><td>メールアドレス</td><td><input type="text"/> (確認)</td></tr><tr><td>分類</td><td><input type="checkbox"/> 共同研究事業 <input type="checkbox"/> 研究支援 <input type="checkbox"/> 審議会等委員の推薦 <input type="checkbox"/> 講師派遣 <input type="checkbox"/> その他</td></tr><tr><td>依頼内容</td><td>詳細 (希望日時・期間、分野、人数等) <input type="text"/></td></tr><tr><td colspan="2"><input type="button" value="入力内容確認"/> <input type="button" value="リセット"/></td></tr></table>	貴団体名	<input type="text"/>	担当部署	<input type="text"/>	担当者名	<input type="text"/>	郵便番号	<input type="text"/>	都道府県	静岡県 ▼	住所	<input type="text"/>	電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>	メールアドレス	<input type="text"/> (確認)	分類	<input type="checkbox"/> 共同研究事業 <input type="checkbox"/> 研究支援 <input type="checkbox"/> 審議会等委員の推薦 <input type="checkbox"/> 講師派遣 <input type="checkbox"/> その他	依頼内容	詳細 (希望日時・期間、分野、人数等) <input type="text"/>	<input type="button" value="入力内容確認"/> <input type="button" value="リセット"/>	
貴団体名	<input type="text"/>																								
担当部署	<input type="text"/>																								
担当者名	<input type="text"/>																								
郵便番号	<input type="text"/>																								
都道府県	静岡県 ▼																								
住所	<input type="text"/>																								
電話番号	<input type="text"/>																								
FAX番号	<input type="text"/>																								
メールアドレス	<input type="text"/> (確認)																								
分類	<input type="checkbox"/> 共同研究事業 <input type="checkbox"/> 研究支援 <input type="checkbox"/> 審議会等委員の推薦 <input type="checkbox"/> 講師派遣 <input type="checkbox"/> その他																								
依頼内容	詳細 (希望日時・期間、分野、人数等) <input type="text"/>																								
<input type="button" value="入力内容確認"/> <input type="button" value="リセット"/>																									

電話での問合せ先 : 053-439-1400 (大学代表)

地域と歩む

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare

ニュースレター

News letter

2011.6
Vol.03



この地域にある大学として

保健福祉実践開発研究センター長 山本 誠

2011年3月に起きた東日本大震災は、多くの人たちの命や生活を奪いました。その後も、余震が続き、原発への不安も含め、いまだに苦しみの中にある人が少なくありません。同じ日本にいらながらも、できることが極めて限られているもどかしさを感じます。マスコミを通して見る映像はすさまじいものでしたが、その中には人の優しさ、力強さ、つながりの素晴らしさを感じるものも多々ありました。

私たち一人ひとりが生かされている存在です。私たちに何ができるのか、この地域にある保健医療福祉の総合大学として何ができるのかを改めて考えつつ、地域の方々と共に歩み続けていきたいと思っています。

さて今年度も、本センター主催の公開セミナー、市民公開講座が開催されます。地域の教育機関、医療福祉機関、行政からも、さまざまな依頼が届いています。また地域貢献研究事業費を活用しての新たな取り組みも始まっています。本紙上では2010年度に行った当センターの“地域と歩む”活動について報告していますので、ぜひご一読ください。今後も皆さんが当センターを活用して下さることを願っています。

目次 ■ センター長挨拶

■ “地域と歩む”活動報告

- ・浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」発行までの道のり
- ・市民公開講座「すこやかリハサポート」
- ・浜松市天竜区「山村地域現地見学会」

■ 地域貢献研究事業 2011年度報告会のご案内

■ 2011年度公開講座のご案内

■ 2011年度地域貢献研究事業費 採択事業一覧

らしく浜松

地域貢献研究事業費の助成を受けて調査、
準備した「らしく浜松」が発行されます。



保健福祉実践開発研究センターとは：

「地域と歩む」をキーワードに、保健医療福祉の現場スタッフとの共同事業・共同研究、地域の専門職向け研修や一般市民への学習機会の提供、地域の自治体や専門分野に関わる団体への協力、地域住民に開かれた相談窓口等を通して、地域の保健医療福祉の更なる質の向上に寄与するための活動に取り組んでいます。

地域と歩む

浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」 発行までの道のり

2009年度・2010年度地域貢献研究事業費の助成を受け、調査や準備が進められていた浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」が2011年6月に発行されます。この新聞は、浜松において障がい福祉やメンタルヘルスの情報を市民に直接届けるために企画されたものです。調査研究は本学社会福祉学部の大場義貴准教授が代表者となり、NPO法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会、(株)メディアス、静岡県作業所連合会・わ、浜松市社会福祉協議会、浜松市手をつなぐ育成会から各1名ずつが共同研究者となり実施されました。

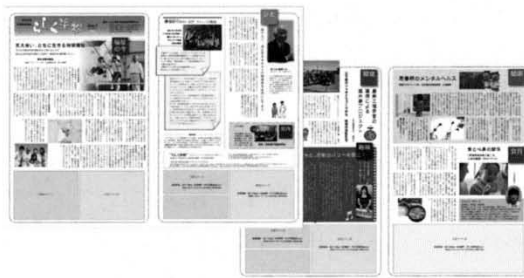
2009年度研究内容

- ①先進地（豊川市）への視察、情報収集
- ②関係機関との意見交換（研究会）：目的や仕組みづくりについて検討
- ③試作版をもとにアンケートを実施：行政・関係機関、一般企業・団体、一般市民から意見収集

2010年度研究内容

- ①関係機関との情報交換（研究会）：運営組織、財源確保、継続的運営について検討
- ②創刊号の作成準備

◆研究代表者：社会福祉学部社会福祉学科准教授 大場 義貴
社会福祉に対する関心の高まりと共に、増加し続ける、ひきこもり、うつ病、自殺など精神保健（メンタルヘルス）の問題は社会的にも注目されてきています。それらに対する、正しい理解や関心を高め、予防や早期支援につなげ、地域内の保健医療福祉に関する意識の向上のために、お役に立つ紙面づくりを目指していきます。皆様から、ご意見、情報提供、資金援助などいただけますと幸いです。



地域と歩む

今後も地域のリハビリサポートを継続していきます。

市民公開講座「すこやかリハサポート」

2010年12月11日、25日に保健福祉実践開発研究センター主催の市民公開講座「すこやかリハサポート」を行いました。普段健康についてアドバイスを受ける機会の少ない方々が健康に生活を送れるようにと考え、本学リハビリテーション学部理学療法専攻の教員と本学大学院リハビリテーション科学研究科の大学院生が講師となり、「身体機能に対するリハビリテーションについて」、「脳機能および生活機能に対するリハビリテーションについて」というテーマで実施しました。講座では講義とタオルを使用した運動や筋力の測定などを行い、各回とも主に40代～80代の方々約50名にご参加いただきました。



講義のようす



タオルを使った測定

参加者の声

【アンケートより】

◎自分の体の機能を知ることはおもしろく楽しいことです。今している動作がどのように伝わり体が動いてくれているのか分析できる気がします。体・脳と向上させるにはどうしていいかなと考え、自己を知ることができるように思っています。このように考えることができ、楽しかったです。

◎いろいろな所から情報がいっぱいあるわけですが、理学療法士の方からの理論、動作でのポイント・アドバイスはさすがと思いました。自分だけでなく職場（特別養護老人ホーム勤務）にも活かしていきたいです。

地域と歩む

浜松市天竜区「山村地域現地見学会」

2011年3月10日(木)・3月17日(木)

本学の教員・学生が浜松市天竜区の佐久間地区・水窪地区を訪れ、地域住民と交流する「山村地域現地見学会」を実施しました。この見学会は、浜松市天竜区・浜松市社会福祉協議会天竜地区センター「都市と山村フレンドシップ事業」の一環として行われたもので、保健福祉実践開発研究センターが窓口となり、天竜区の山村地域をフィールドにした研究や学習、学生と住民の交流を今後活発に行うために高齢化の進む両地区の現状を把握することを目的に、両地区合わせて教員14名、学生8名が現地を見学しました。



佐久間地区では「吉沢しゃくなげ会」という地域サロンの参加者と交流し、日常生活や会の活動についてのお話を伺いました。



特別養護老人ホーム等を運営する「さくまの里」「みさくぼの里」にも訪れ、職員らと意見交換しました。



水窪地区では浜松市社会福祉協議会の介護予防事業である「水窪元気はつらつ教室」を見学し、参加者と交流しました。

参加者の声

- ◎普段一人暮らしの高齢者の皆さんにとって、地域活動が大きな意味を持っていることがわかりました。【佐久間コース参加学生】
- ◎病院に来る患者さんがどんな地域から来て、戻っていくのか、いろいろなライフスタイルを知る意味で、今回のよ

うな山村地域の方々の暮らしを知るのは大切だと思いました。【水窪コース参加学生】

- ◎地域の高齢者の皆さんがいきいきと自主的に暮らしている様子に触れることができ、学生が授業や演習、実習を通して住民の方々と交流することで多くを学べるであろうことが実感できました。【教員】

浜松市社会福祉協議会天竜地区センターさんの話

平成17年7月の合併以降、太平洋から南アルプスの麓までの広域な範囲を持つ浜松市では、都市部に生活している人が中山間地域に入り込み交流をもつ機会がなかなか取れなかったのですが、この事業を通じ今回それが実現できました。見学に来られた先生方や学生さんたちが、中山

間地域では地域福祉を推進する方法が都市部の方法とは違うといけなという現状を広く伝えてくれることを望みます。また、今回の出会いをきっかけとし、地域と大学がつながり、より住みやすい地域づくりの研究を進めていくことができればと思います。

地域貢献研究事業 2011年度報告会のご案内

2010年度に地域貢献研究事業費の採択を受けて実施された研究事業12件のポスター発表を行います。

日時 2011年11月5日(土) 10:00～17:00(予定)

場所 聖隷クリストファー大学 1号館玄関ホール(予定)

※詳細はホームページ等でご案内いたします。

聖灯祭
ホームカミングデー
同日開催

2011年度公開講座のご案内

詳細は順次大学ホームページに掲載いたします。

主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」、主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」として開催いたします。インターネットまたはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

公開セミナー

①リーダーシップに関する講座

リーダーの使命と求められるリーダーシップ

◆日時／2011年7月2日(土) 10:00～11:30

◆講師／坂本 光司 氏(NPO法人オールしずおかベストコミュニティ 理事長、法政大学大学院静岡サテライトキャンパス長・教授)

◆対象／一般、保健医療福祉の専門職者 ◆定員／200名 ◆場所／聖隷クリストファー大学

②IPW(専門職連携)に関する講座

【講義】災害時の専門職連携～被災に向けて～ 【演習】インタープロフェッショナルになる (Becoming Interprofessional)

◆日時／2011年10月8日(土) 13:30～16:15 ※時間予定

◆講師／田村 由美 氏(滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 教授)

◆対象／保健医療福祉の専門職者 他 ◆定員／100名 ◆場所／聖隷クリストファー大学

市民公開講座

①認知症・介護予防に関する講座

認知症介護の最前線(全2回)

◆日時／第1回 2011年11月19日(土)・第2回 12月3日(土) 13:00～15:30(講演と事例検討)

◆講師／中村 裕子 教授(社会福祉学部臨床介護福祉学科長・教授)

◆対象／家庭で介護に関わる一般の方々、認知症・介護予防に関わる専門職者 ◆定員／100名 ◆場所／聖隷クリストファー大学

②子ども・子育て支援に関する講座

子どもへのまなざしー障がいのある子もいない子もみんなで育ち合うー(仮題)

◆日時／2011年12月24日(土) 13:00～16:30 ※時間予定

◆講師／佐々木 正美 氏(児童精神科医、川崎医療福祉大学教授、子育て協会顧問)

◆対象／一般 ◆定員／200名 ◆場所／聖隷クリストファー大学、または大学付属クリストファーこども園

参加申込みに関する問い合わせ先

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
【申込方法】

申込開始は講座開催日の約1ヵ月前からとなります。

【インターネット】大学ホームページ→公開講座 <http://www.seirei.ac.jp/>

画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

【ファックス】Fax.053-439-1406

氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

FAX用紙は大学ホームページからダウンロードできます。

2011年度地域貢献研究事業費 採択事業一覧

2011年度は2011年2月に公募、4月に審査を行い、6件が採択されました。

研究課題名	研究代表者	共同研究者	〈 〉内は研究協力者	対象地域
地域性を踏まえた在宅緩和ケアの訪問看護基準の作成	酒井 昌子 (看護)	佐藤泉、長谷川厚子、天野宏子、増田明美、谷口弥生、井田澄代、水野知絵、中谷純子(訪問看護ステーション浅田、貴布祿、住吉、高丘、細江、三方原)		聖隷福祉事業団 浜松市内の 聖隷訪問看護 ステーション
コミュニティを基盤とした参加型研究方法 (Community-Based Participatory Research: CBPR)を用いたコミュニティ・ニード調査	仲村 秀子 (看護)	佐久間地区社会福祉協議会、酒井昌子(看護)、鈴木知代(看護)〈看護学生3人程度〉		浜松市天竜区 佐久間地区
発達障害幼児に適用可能な聴力検査と 発達レベルとの関係	立石 恒雄 (リハST)	足立さつき(リハST)、池田泰子(リハST)、石津希代子(リハST) 〈松本知子・菊池一浩・荻原晴美・上間恵里(浜松市根洗学園)〉		浜松市
地域在住高齢者を支える リハビリサポート体制の構築	金原 一宏 (リハPT)	大城昌平(リハPT)、水池千尋(リハPT)、根地嶋誠(リハPT)、 大杉紘徳(浜松南病院)、合田明生(協立十全病院)		浜松市北区
高次脳機能障害サービスの有効性	建木 健 (リハOT)	藤田さより(リハOT)、鈴木達也(リハOT)、建木良子、田中裕美(朝山病院)、秋山尚也(浜松リハビリテーション病院)、片桐伯真(聖隷三方原病院)、滝川八千代・植田しずえ(高次脳機能障害サポートネットしずおか)		浜松市
出張型陶芸クラブの創設	鈴木 達也 (リハOT)	建木健(リハOT)、宇佐美好洋(浜松十字の園)、他3名		浜松市

※〈 〉内は所属を表す。本学教員の場合:看護=看護学部、リハ=リハビリテーション学部、PT=理学療法学科、OT=作業療法学科、ST=言語聴覚学科

【地域と歩む】保健福祉実践開発研究センター ニュースレター 第3号

発行／聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL:053-439-1400 FAX:053-439-1406

Eメール:health-science@seirei.ac.jp HP:<http://www.seirei.ac.jp/>

**受講
無料**

講師

坂本 光司 氏
NPO法人オールしずおかベストコミュニティ理事長
法政大学大学院静岡サテライトキャンパス長・教授

「企画演出型リーダー」
「行動するリーダー」の育成が
教育モットー。障がい者の
就労支援を通じて福祉と企業、
地域の心をつなぐ活動に
取り組む講師が正しい
リーダーシップについて
語ります。

リーダーの 使命と求められる リーダーシップ

LEADERSHIP THEORY

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
公開セミナー

後援：浜松市

組織の業績は
リーダーの優秀にかかっています。
組織のリーダーは
正しいリーダーシップを果たせば、
業績は後からついてきます。
正しいリーダーシップとは……



開催日

2011年 **7月2日(土)**

時間／10:00～11:30[受付・開場9:30～]

会場／聖隷クリストファー大学

対象／一般市民の方々

保健医療福祉の専門職者

定員／200名

プロフィール

さかもと こうじ
坂本 光司 氏

法政大学大学院政策創造研究科教授・同経営大学院(MBAコース)兼任
教授及び法政大学大学院静岡サテライトキャンパス長
1947年 静岡県生まれ、1970年 法政大学経営学部卒。静岡文化芸術大
学文化政策学部・同大学院教授等を経て、現職。ほかに、関東経済産業局
中小企業経営のあるべき姿に関する調査委員長等、国・県・市町村の公務
も多数務める。専門は、中小企業経営論、地域経済論、地域産業論。
主な著作：『経営者の手帳～働く・生きるモノサシを変える100の言葉』(あさ
出版、2010年)、『弱者にやさしい会社の話』(近代セールズ社、2010年)、
『ちっちゃいけど、世界一誇りにしたい会社2』(ダイヤモンド社、2010年)、『日
本でいちばん大切にしたい会社2』(あさ出版、2010年)など多数。



申込方法

- インターネットの場合 聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp>] → 公開講座から
- FAXの場合 …………… 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター [053-439-1406]まで
(裏面の申し込み用紙をご利用ください)

氏名(ふりがな)・住所・電話番号・FAX番号またはメールアドレス・職業・申込講座名をお知らせください。

申込
締切 **6/22(水)**

※申込締切日以降に、受講票を
返信いたしますので当日お持
ちください。

●お問い合わせ

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

看護学部／社会福祉学部／リハビリテーション学部／助産学専攻科

大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科／リハビリテーション科学研究科／社会福祉学研究科

交通のご案内

●バスでお越しの方

JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気質・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。

●お車でお越しの方

聖隷クリストファー大学第1・第2駐車場を
ご利用ください。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター
2011年度公開セミナー② IPW (専門職連携) に関する公開セミナー

参加
無料

定員
100名
先着順

災害時の専門職連携 ～減災に向けて～

共催：浜松市社会福祉協議会 後援：浜松市

【日時】2011年10月8日(土) 13:30～16:30 受付・開場13:00～
【場所】聖隷クリストファー大学 1409教室 (浜松市北区三方原町3453)

【プログラム】講義と演習を行います。

13:30～15:15 講義「災害時の専門職連携～減災に向けて～」

講師 ◆田村 由美氏(滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 教授)

◆キエルト・ドゥイツ氏(ジャーナリスト)

15:25～16:30 演習「インタープロフェッショナルになる

(Becoming Interprofessional)」

3つ以上の専門職による混成グループを作り、講師の提示するシナリオを
もとにIPW(専門職連携)を体験します。

【対象】保健医療福祉の専門職者、社会福祉協
議会の方、災害ボランティアコーディネーター
の方、地域の防災リーダーなど。

災害時の避難所の運営や被害
を最小限に抑える減災への取り組み
みにおいては、専門職やボランティ
ア、行政等が連携・協働することが不可欠です。

そして災害時は、当事者の地域住民こそが専門職
なのです。

東海地震が警戒されるこの地域で、減災に向けた
連携・協働について共通認識を持つことを目指します。

【講師紹介】田村先生は、保健医療福祉の専門職連携
(IPW)を学ぶ教育プログラム開発プロジェクトを立ち上げ、
IPW推進のための教育・研修(IPE)を行っています。東日本
大震災における避難所運営等について、被災地のキー
パーソンのインタビュー映像を用いた講義と演習を行いま
す。ドゥイツ氏は、東日本大震災では地震の翌日から被災
地に入り、避難所の食の支援や諸外国との支援コーデ
ィネートを行っています。被災地の生の状況をお話します。

【申込方法】

- ① インターネットでのお申し込み
大学ホームページ⇒公開講座から
- ② FAXでのお申し込み
裏面の申込用紙で053-439-1406へ

【申込締切】9月22日(木)

【問合せ先】保健福祉実践開発研究センター
TEL: 053-439-1400

【参加される方へ】避難所運営における連携・協
働を想定した演習にご参加いただきますので、
申込時、お持ちの資格や職務内容のご記入に
ご協力くださいますようお願いいたします。

* 定員に達するまで、申込状況は随時ホームページに掲載いたします。
* 受講決定のご連絡は受講票の送付をもって代えさせていただきます。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

2011年度市民公開講座①

後援：浜松市

参加
無料

認知症介護の最前線(全2回)

認知症が進行する原因はストレスにあることが、最近わかってきました。ご家庭や介護施設で認知症高齢者を介護されている方々、『脳の働き』について一緒に勉強してみませんか。同時に認知症介護の悩みも会場で受け付けます。



【講師】中村 裕子 教授

本学社会福祉学部臨床介護福祉学科長。東京大学医学系大学院国際保健学科博士課程修了。研究テーマは、認知症の介護、介護福祉教育の国際比較、高次脳機能障害と生活支援、臨床倫理。所属学会：日本介護福祉学会（理事）、日本介護福祉教育学会、日本神経学会、日本国際保健医療学会、米国神経学会（AAN）（フェロー）、他。

【日時】第1回：2011年11月19日（土）13:00～15:30 受付・開場12:30～
第2回：2011年12月 3日（土）13:00～15:30 受付・開場12:30～

【会場】聖隷クリストファー大学（浜松市北区三方原町3453） 【定員】100名

【対象】ご家庭や介護施設で認知症高齢者を介護されている方々

【プログラム】講義と事例検討を行います。

第1回：講演と事例検討

13:00～14:30 「認知症介護の最前線」講演 中村教授

14:30～15:30 事例検討（事例は講師より提示）

第2回：「実践のポイント」と事例検討

第1回講義を踏まえて、第2回参加者から職場や各家庭で抱える課題、困っていることを事前に提出してもらい、一緒に考え、解決の糸口を探ります。

13:00～13:30 「実践のポイント」講演 中村教授

13:30～15:30 事例検討（参加者の事例より）

詳しくは第1回講義で説明します。ご参加は、第1回のみ、あるいは第2回のみでもけっこうです。

申込
方法

インターネットの場合・・・聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp/>]→公開講座から
FAXの場合・・・・・・聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター[053-439-1406]まで
（裏面の申込用紙をご利用ください）

氏名（ふりがな）・住所・電話番号・FAX番号またはメールアドレス・職業・勤務先等をお知らせください。

【締切】11月9日（水） 申込締切日以降に受講票をお送りしますので当日ご持参ください。

●お問い合わせ 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558 浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406

<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

｜看護学部／社会福祉学部／リハビリテーション学部／助産学専攻科

｜大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科／社会福祉学研究科／リハビリテーション科学研究科

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター
市民公開講座 後援：浜松市

受講
無料

託児あり

子どもへの まなざし

～みんなで育ち合う～

現代の日本では、
子どもに人との関係に喜びを感じる力を育てることが大切だと思います。
まず母親との関係から始まって、友だちや先生とイキイキと交わることができるように、
「人を信じる力と自分を信じる力」を育てたいと思います

開催日 2011年 12月24日(土)

定員
200名

時間／13:00～15:30[受付・開場12:30～]

会場／聖隷クリストファー大学1701教室

対象／一般(子ども、子育てに関心のある方)、子どもに関わる専門職者など

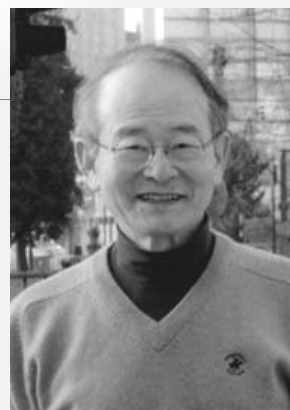
基調講演

講師 佐々木正美氏 児童青年家族精神科医
川崎医療福祉大学特任教授

パネルディスカッション

パネラー 佐々木正美氏
雨宮寛氏 社会福祉法人小羊学園 在宅支援センターぱびるすセンター長
太田雅子教授 聖隷クリストファー大学こども教育福祉学科長
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園総園長

コーディネーター 石川瞭子教授 聖隷クリストファー大学こども教育福祉学科



講師

佐々木正美氏

MASAMI SASAKI

プロフィール＝1935年生まれ。新潟大学医学部卒業。児童青年家族精神科医。東京大学精神科を経て、ブリティッシュ・コロンビア大学児童精神科留学。国立秩父学園、小児療育相談センター、横浜市総合リハビリテーションセンターに勤務。現在川崎医療福祉大学特任教授、ノースカロライナ大学TEACH部非常勤教授。

申込方法

- インターネットの場合 聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp>] → 公開講座から
- FAXの場合 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター[053-439-1406]まで
(裏面の申し込み用紙をご利用ください)
- 氏名(ふりがな)・住所・電話番号・FAX番号またはメールアドレス・職業・申込講座名をお知らせください。
- 託児ご希望の方は、下記問合せ先までご連絡ください。

申込
締切

12/14

※申込締切日以降に受講票を
返信いたしますので、当日お持ち
ください。

●お問い合わせ

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

看護学部／社会福祉学部／リハビリテーション学部／助産学専攻科
大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科／リハビリテーション科学研究科／社会福祉学研究科

交通のご案内

- バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。
- お車で越しの方
聖隷クリストファー大学第1・第2駐車場を
ご利用ください。

11/5
(土)

聖灯祭・ホームカミングデー

本学へお越しいただいた皆さん
【地域と歩むラウンジ】にお立ち寄りください！
場所：1409教室(1号館4階)

10:00～15:00 随時

【地域と歩むラウンジ】ご自由に、休憩場所、
昼食場所等としてご利用ください(持込可)

地域と歩む
ラウンジ



13:30～15:00

“コーヒーショップ啓” 開店

普段は月1回の日曜日、学生と教員が小羊学園
三方原スクエアで開店している“コーヒーショップ啓”
が出張サービスでコーヒーをふるまいます。
このチラシに添付の1杯無料券をお使いください。
(1杯100円)

1409



10:00～15:00 随時【見学自由】

今地域とともに、こんな活動をしています

地域貢献研究事業ポスター報告

----- キトリ線 -----

2011.11.5 (土) 1409教室
【地域と歩むラウンジ】
コーヒーショップ啓
コーヒー1杯
無料券

2010年度に保健福祉実践開発研究センターの研究助成により、地域の保健医療福祉施設と本学教員とが共同で実施した研究・事業11件のポスター報告を行っています。(コーヒーショップ啓も当事業の一環です) ぜひご覧ください。⇒裏面に紹介あり

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

10:00～15:00 随時【見学自由】
今地域とともに、こんな活動をしています

地域貢献研究事業ポスター報告

1409教室
 見学自由

保健福祉実践開発研究センターでは2009年度から毎年度「地域貢献研究事業費」を配分し、浜松市を中心とした地域の人々を対象にした事業や、病院・施設等と協力した共同研究を支援しています。2010年度は11件が実施されました。11/5(土)には【地域と歩むラウンジ】(1409教室)で報告のポスターを掲示します。

	<2010年度 取組・テーマ>	<地域>	<代表者>
1	専門看護師(CNS)をご存知ですか？ 本学大学院修了のがん看護CNSが奮闘中です	浜松市	看護学部 准教授 森本 悦子
2	有料老人ホーム在住者の生活満足度を調査しました	静岡県内外の有料老人ホーム	看護学部 講師 野崎 玲子
3	乳幼児虐待が起きる危険性の高い家庭を救いたい ―保健師たちの挑戦	浜松市	看護学部 助教 岩清水 伴美
4	おいしいコーヒーはいかが？ クリームのひげがつくウィンナコーヒーもありますよ ～学生と先生が地域の施設でコーヒーショップを開いています～	浜松市北区 (小羊学園三方原スクエア)	社会福祉学部 教授 小松 啓
5	浜松市に手作りの保健福祉新聞が誕生しました！	浜松市	社会福祉学部 准教授 大場義貴
6	要介護者のためのリハビリテーション ―栄養面に着目しました	浜松市北区	リハビリテーション学部 教授 西田裕介
7	乳幼児聴覚検査のバリアフリーを目指して	浜松市	リハビリテーション学部 教授 立石恒雄
8	障がいがあっても安心して働ける地域を作ろう！	浜松市	リハビリテーション学部 准教授 辻 郁 ※所属は2010年度
9	高次脳機能障害をもつ方々を支援します	浜松市	リハビリテーション学部 助教 建木健
10	片手でもできるお料理教室 一片手に両手、たくさんの手で協力して料理を作りました	浜松市	リハビリテーション学部 助教 鈴木達也
11	言語聴覚士が特別支援学級でできること	浜松市	リハビリテーション学部 助教 池田泰子

* 地域貢献研究事業費とは

保健福祉実践開発研究センター事業のひとつである「保健医療福祉分野に係るすべての人たちとの共同事業・研究」を推進し、共同で課題解決を図るために、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究事業を対象として募集する研究事業費です。2009年度の当センター立ち上げ時より開始し、2009年度は9件、2010年度は11件、2011年度は6件の研究・事業を採択しています。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター